





































接触状況はどうでしょうか。

★感染源調査（陽性者の感染源は？）⇒ ①面会した家族？、②職員、③同じ食事テーブルなど他の入所者から

★接触者調査（発症2日前から）⇒ 空気感染、接触感染、飛まつ感染のリスク

①同室者、②担当した職員、③同じ食事テーブルなど感染リスクのある入所者

	陽性者
	感染の可能性が ある接触者

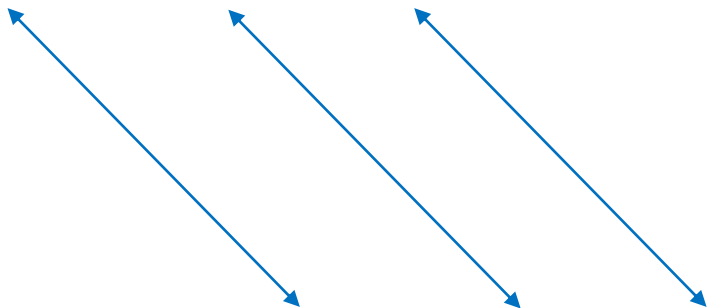
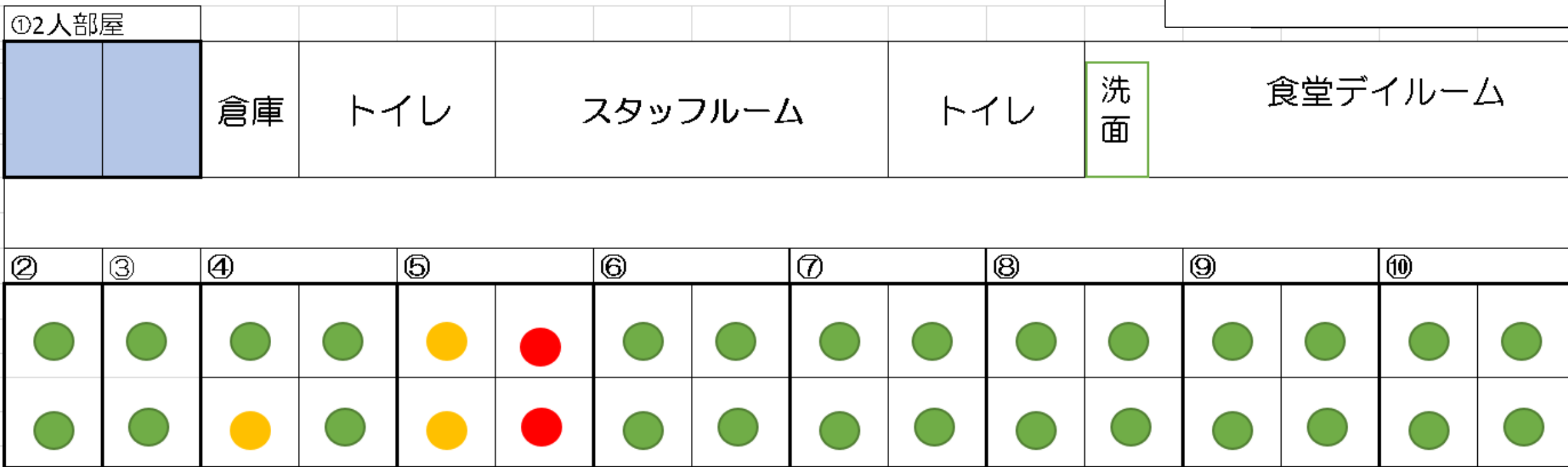
①																			
		倉庫	トイレ	スタッフルーム				トイレ	洗面	食堂ダイニング									
②	③	④		⑤		⑥		⑦		⑧		⑨		⑩					
																			
																			
					Bさん														
					Aさん														



A、Bさんの
入浴と食事

もし部屋が空いていたら

- 陽性者
- 感染の可能性がある接触者



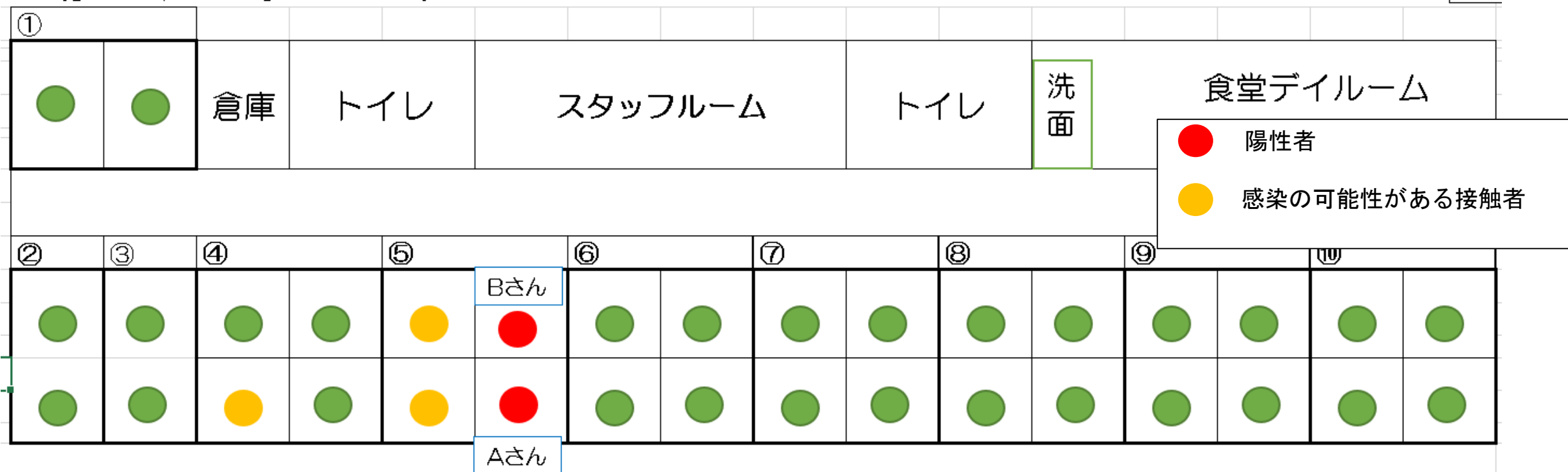
部屋移動しない場合、感染拡大防止のためには？

(1) 検査 (PCR検査、抗原定性検査) ⇒ 感染状況を把握し、作戦を立てる。

- 感染対策を有効に実施。(例えば、個人防護具の着用などの対策を行う

「対象」がわかる。五里霧中な感じが減る)

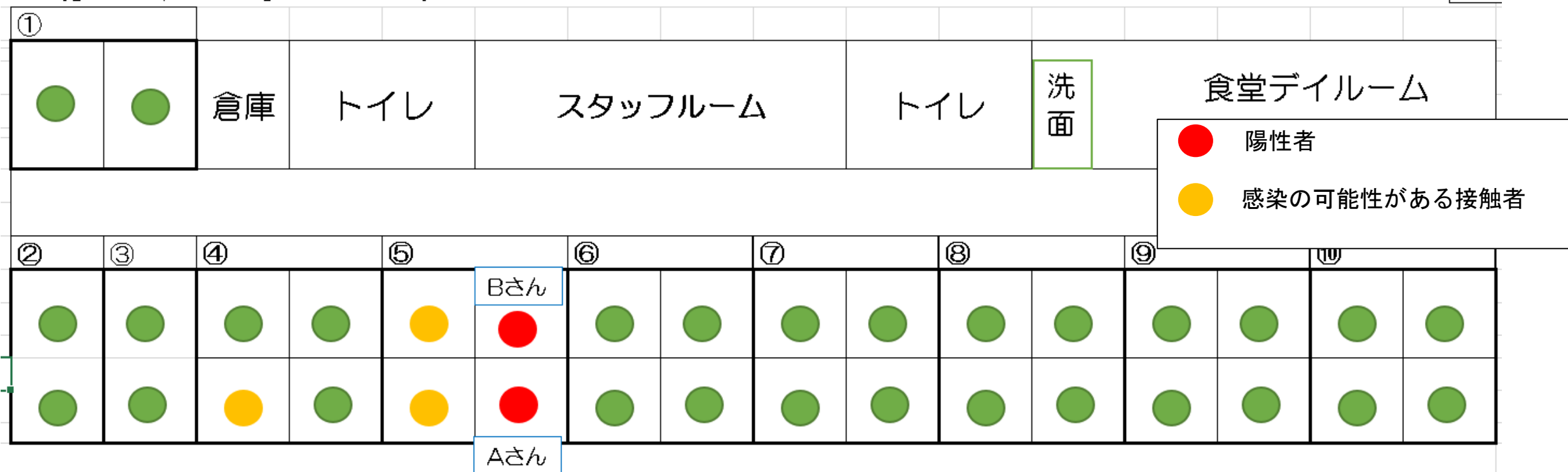
- 業務継続計画が早期に発動できる。



部屋移動しない場合、感染拡大防止のためには？

(2) 空気(エアロゾル)感染リスクを下げる

- 換気扇をON（室内トイレの換気も常にON）
- 換気扇など風の吹出し口の直下、近くに陽性者を配置しない⇒風下クラスター
- 空気清浄機を使用する場合、空気取入れ口が陽性者の呼気側になるように設置。
- CO2センサーで、換気状況を目で見て確認する



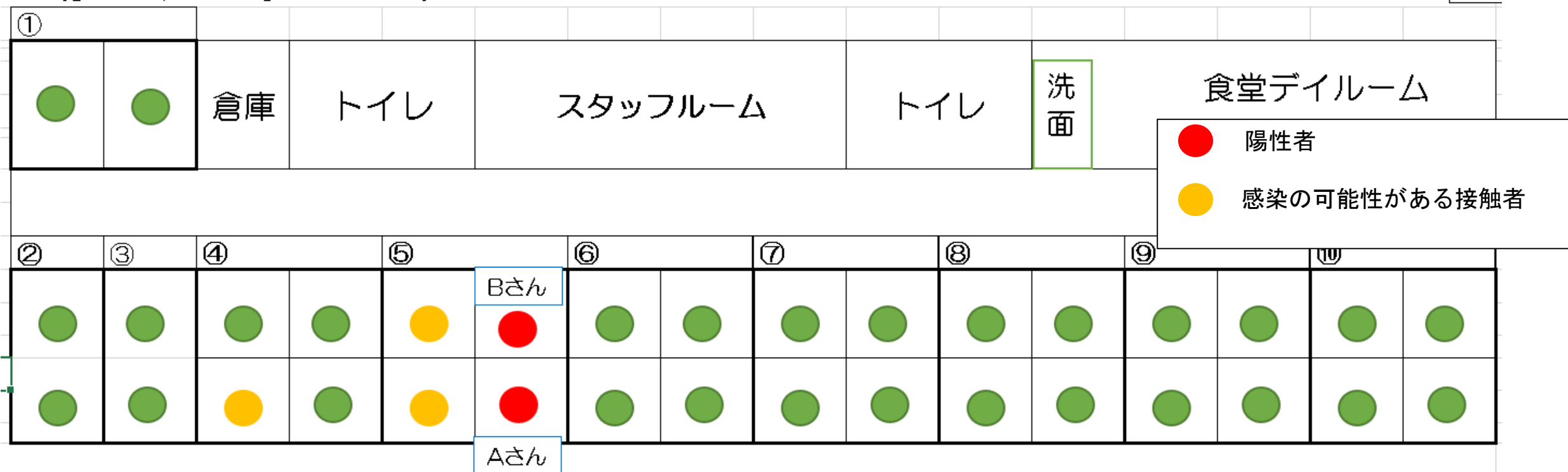
部屋移動しない場合、感染拡大防止のためには？

(3) 飛まつ感染リスクを下げる

- ・職員はサージカルマスク着用。（約1.5m内で会話する場合など）

(4) 接触感染リスクを下げる

- ・个人防护具（手袋、ガウン、アイガード：接触距離、分泌液・排泄物の付着）
- ・手指衛生（手指消毒は携帯用を推奨。設置場所が遠いと省略しがち。）



感染経路別予防策

標準予防策以上の予防策が必要となる病原体に感染している患者、あるいはその感染の疑いのある患者が対象で主に3種類ある

- 空気予防策
- 飛沫予防策
- 接触予防策



感染経路別予防策は、標準予防策に加えて実施する

病原体の種類が「新型コロナウイルス」とわかっている場合は、3つの経路予防策を行う。

引用：日本感染環境学会教育ツール

標準予防策(平時の予防策)の考え方

スタンダードプリ
コーション
(標準予防策)
って知ってますか

標準(平時の)予防策とは、汗を除くすべての排出物には感染のリスクがあるとみなして行う予防策



血液・体液



汗を除く分泌物



排泄物

傷のある皮膚や
粘膜



- ① 平時にアイガードは必要ですか？
- ② 新型コロナ陽性者対応時にアイガードは必要ですか？

標準(平時の)予防策の内容(施設で)

- 手指衛生(手洗い・手指消毒)
- 個人防護具
- 咳エチケット・呼吸器衛生
- 患者ケアに使用した器材の取り扱い
- 洗濯物やリネンの管理
- 環境への対策
- 適切な患者配置
- 廃棄物の管理

ある入所者がどのような病原体を持っているか、検査しない限り知り得ない。また検査も偽陰性になることがある(検査時期や検査手技の不備など)

○何のためにアイガードをしますか？

目的：何から目を守るのですか？



リスク：飛まつ感染がおこる感染症が

国内で流行していますか？

近隣で流行していますか？

自分の施設で流行していますか？

個人防護具(PPE)の選び方

血液・体液・分泌物・排泄物などが

手に触れる
可能性がある
場合



手袋

衣服に飛び散
る可能性がある
場合



ガウン

または



エプロン

予測される汚染の
程度に応じて選択

眼に飛び散る可
能性がある場合



ゴーグル

または



サージカルマスク

口・鼻に飛び散る
可能性がある場合

自分の飛沫を飛散
させたくない場合
(咳エチケット)



フェイスシールド付マスク

標準予防策(平時)での個人防護具PPEの選び方

業務内容 + 入所者の状況 = 「PPEの選択決定」

例：食事配膳 + 症状なし = サージカルマスク

例：食事介助 + 誤嚥歴(咳する可能性)あり =
サージカルマスク、アイガード

例：バイタル測定 + 症状なし = サージカルマスク

例：歩行訓練 + 症状なし = サージカルマスク

例：おむつ交換 + 全介助 = サージカルマスク、アイガード、
ガウンorエプロン、手袋

業務内容のリスク評価と入所者のアセスメントを行いPPEを選択する。
手指衛生(手洗い、手指消毒)は忘れずに

感染経路予防策時の个人防护具PPEの選び方

経路別疾患 + 業務内容 + 入所者の状況 = 「PPEの選択決定」

例：新型コロナウイルス感染症 + おむつ交換 + 全介助、ひどい咳
= サージカルマスク、アイガード、ガウンorエプロン、手袋
※十分に室内換気も行う。手指衛生も。

業務内容のリスク評価と入所者のアセスメントを行いPPEを選択する。

(引用:2023年5月12日沖縄県高齢者施設向け新型コロナ感染防止相談会 浦添総合病院原國室長作成資料)

感染した病原体が
分かっているならば、その病原体ごとの
感染経路を調べて対策します。

新型コロナウイルス感染症では

- ・空気感染
- ・接触感染
- ・飛まつ感染

どうやって感染がおこるの？

